



かるしおメニューでも、食べごたえ十分

「かるしお」で脳卒中予防 脱脳卒中宣言事業「かるしお交流会」

栄養士や調理師などを対象にかるしお交流会（県奥州保健所主催）が2月22日、同保健所で開催されました。交流会では、本県の脳卒中死亡率が全国ワーストという現状から、予防のための減塩効果の理解を目的に、基調講演や実践発表、ホテルや病院が取り組むかるしおレシピが紹介されました。国立循環器病研究センターNCBN推進室の高田彰室長は基調講演で「地域での予防策を理解し、住民と行政が一体となった取り組みが必要」と人々の協調行動の活発化を呼び掛けました。

南部神楽継承の意気新たに ころもがわ神楽まつり

第26回ころもがわ神楽まつり（同実行委員会主催）が2月21日、サンホテル衣川荘で開催されました。衣川区の5団体と宮城県栗原市の城生野神楽が10演目を上演し、詰め掛けた神楽ファンを楽しませました。同日に本年度の市教育委員会表彰を受賞した大原神楽保存会（高橋末夫代表）と川東神楽保存会（千葉正司代表）もそれぞれ劇神楽を披露。両代表は「仲間や地域、観客の皆さんに感謝。頑張って後継者を育成していきたい」と今後の意気込みを語っていました。



衣川ゆかりの遠藤盛遠（もりとお）の物語「恋塚物語」を演じる川東神楽保存会



無料で試着できる着物を羽織り、記念に写真を撮影

えさし 災いなく美しい子にと願う えさし郷土文化館テーマ展「古里のお雛さま」

えさし郷土文化館（相原康二館長）で3月27日まで開催しているテーマ展「古里のお雛さま」では、江戸時代に流行した面長で衣装の装飾性に富んだ享保雛、江戸や京都から頭を取り寄せ自由に着飾って楽しんだとされる田舎雛など、さまざまな人形を展示しています。会場を訪れ、人形が持つ立派で美しい表情に感心していた江刺区の菊池香代子さん（78）は「娘のために買った7段飾りを今も飾っている。家族のような存在です」と雛人形と共にある家族との思い出を話していました。

和牛農家への生産のすゝめ うし学講座「館長講座」

「最近の和牛市況とTPPについて考える」と題したうし学講座「館長講座」が2月13日、前沢地区センターで開催されました。この講座は、牛の博物館が主催し、同館の内田宏館長（農学博士）が、和牛生産の振興に寄与するために講演しているものです。講演では、農家の高齢化や担い手不足、和牛の高騰、TPPによる影響など、和牛生産が直面している課題について解説。「国内外の情勢を農家自らが把握することが大切」と、和牛農家の生き残りに向け提言しました。



統計的な数値に照らし和牛市況を解説する内田館長

冬の街なかを鍋で楽しもう 街なか「食」の祭典 N-1 フェスティバル



（左上）呼び込みにも熱が入る （右上）あったかい鍋、おいしいね （下）大勢の人でにぎわう販売ブース

街なか「食」の祭典N-1フェスティバル（奥州エフエム放送㈱主催）が2月20日、水沢区のメイプルで開催されました。産直来夢くんや関西和賀産業公社など市内外から10団体が出店し、はっとなど自慢の鍋料理を200円で提供しました。多くの来場者が複数の鍋料理を買い求めて食べ比べ。水沢区の田中蒼空ちゃん（1）のお母さんは「家族で6種類を食べました。子どもはみるく豚汁がお気に入りです」と、家族で楽しめるイベントを満喫した様子。奥州エフエムの佐藤孝之放送局長は「街なかには冬のイベントが少ない。市の郷土料理のはっとにちなんで鍋料理が一堂に会する場を企画した」と語り、イベントが街なかのにぎわい創出の一助となることを願いました。

子どもの声から大人が学ぶ のびのびユースネットフォーラム

市水沢青少年育成市民会議（阿部靖彦会長）が主催するのびのびユースネットフォーラムが2月13日、市まちなか交流館で開催されました。このフォーラムは、ボランティア活動などに取り組む児童・生徒が、その成果や課題を共有し合う場として毎年開催されています。「いのち」そして“生きる”ことについて考える」をテーマに市内の小中高生6人が発表。「幼児の笑顔を見て“やってよかった”と思えた」「募金活動で人の温かさに触れた」など活動で感じたことを伝えました。



フォーラムの主役は児童・生徒たち。堂々とした発表です



初上演された奥州衣川青凜会・佐藤もと凜さんによる星の講談

雪と冬の星空を楽しく学ぶ 雪の不思議フェスティバル

雪の不思議フェスティバル「雪っ子たちの冬の星探検」が2月13日、奥州宇宙遊学館で開催されました。雪と冬の星空をテーマに毎年行われている同イベント。ことしは“雪の結晶”工場のほか、冬の星座を使ったビンゴ大会や冬の特別講談「又ちゃんの奥州“星”めぐり」が上演され、訪れた親子連れを楽しませました。姉妹小4年の荒井大希君（9）と佐々木瑞葵君（10）は「講談はちょっと難しかったけど、興味があることなので次もまた来てみたい」と目を輝かせていました。